

安全・安心な加西市を目指して

一般質問



別府 直 議員

(自民の風・誠真会)

問 近ごろ1時間の総雨量が100ミリを超える大雨が多発しているが、加西市防災マップの想定雨量では追いつかないのではないか。より多くの雨が降った場合のマップ表記についても検討していただきたい。

答 水防法・土砂災害防止法に基づき作成しているため、必ずしも現状と合致しない場合もありますが、市独自で想定を見直しマップを作成することは、経費的にも、どの程度まで網羅するかといった知見的にも困難です。

また、防災マップの目的は、予想を超える災害の状況までを網羅するというよりは、災害知識の普及や避難対策といったソフト面を重視しており、

これを基に地域特性を反映したマップ等を作成し、地域防災力向上に努めていただきたいと思います。

問 災害時における、市の連絡・広報手段について。

答 市からの防災情報の発信手段は、携帯電話のメール配信とテレビ等によるデータ放送です。避難勧告等については、加西防災ネット、エリアメール等の緊急情報配信システムを利用し配信します。テレビは、NHK及びサンテレビの文字放送を利用し、サンテレビでは、昨年度より開設したデータ放送まちナビにより、緊急情報や独自の防災情報も配信します。

問 防災無線放送については、過去に提案した際、数億円にもなる費用の捻出が不可能との理由で見送った経緯があるが、今こそ推進の時期に来たのではないかと。

答 現在、エリアトークは市内23町、約2,700戸で整備されており、

防災行政無線との連携ができれば、非常に有効な手段であるため、費用等の問題はあるものの、導入の検討を始めているところです。

また、一部校区における有線の更新時期が近づいていますが、市民会館の耐震化等もあり、今現在、防衛関係のさらなる補助金の獲得は困難な状況です。

問 災害発生の予測時に遡り、「いつ何をすべきか」という、タイムライン(事前対応計画)を住民にわかりやすく、明確な行動パターンとして示す必要があるのではないかと。

答 災害を見越した対応や確認漏れの防止など、非常に有用であるため、計画を策定し、ぜひマニュアル化に努めたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・播磨国風土記1300年事業について

加西市療育事業・相談事業について

一般質問



高橋佐代子 議員

(自民の風・誠真会)

問 委託事業者の運営状況をどのように評価しているのか。委託事業者任せにならず、理解や協力、充実のための積極的な関与ができていないのか。

答 8月末の利用状況は、昨年度の3,253人に対して、3,100人とほぼ順調で、直営時と遜色ない運営ができています。担当課は、随時相談協議を行い、療育検討会や事前、事後会議に出席し、安定した事業運営を支援している。

問 他市の事業に比べ、優れている点、不足している点は何か。

答 専属スタッフの配置、事業専用スペースの確保、訓練用の器具等を備え、相談・訓練・保育ができる充実した体制を構築している。他市が月一、二回実施している訓練を毎週実施し、豊富なメニューの療育事業を行っている。就園前の在宅幼児に対する子育て支援事業も行い、発達上何らかの問題を有する幼児と保護者、子育てに悩む保護者に対して支援を行っている。

問 取り組むべき課題をどうとらえているのか。

答 これまでの検証とこれから望まれる支援についてのニーズ調査を行い、より充実した療育事業を行う体系・体制づくりを検討していく。

問 健康福祉会館の中にあるが、療育相談、子育て支援が十分できている環境整備なのか。利用者に優しく利用しやすい環境にあるのか。

答 他市にない環境で充実した支援ができていて、利用者増に伴い、もう少し広いスペースが必要な場合がある。児童療育室を備えた児童館のようなものを整備し、他の子育て支援施策とあわせて、子育て支援の拠点とする手法も考えられる。

問 利用する立場からすると、所管がえを行うことで、さらにより連携ができ、安心感や満足度が向上するのではないかと。

答 現在も連携・支援を行っているが、こども未来課への所管がえはさらに連携が取りやすく、園の円滑なフォローも期待できるため、前向きに検討したい。

■その他の質問項目

- ・ごみの減量とリサイクルについて
- ・(仮)泉幼稚園について